

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	基礎プログラミングおよび演習		
英文授業科目名	Fundamental Programming		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	専門科目-専門基礎科目-		
開講学科・専攻	情報工学科		
担当教官名	野下 浩平		
居室	西9-440		

公開E-Mail	授業関連Webページ
noshita@cs.uec.ac.jp	なし

【主題および達成目標】
コンピュータの働きを理解し、ソフトウェアづくりの基礎的な考え方を習得するために、プログラムの初歩的な書法と技法、ならびに言語の規則について学ぶ。なお、本科目は単にプログラミングのノウ・ハウを与えるものではなく、情報工学科の上級科目を理解し、問題解決の基盤となる思考方法を養うことを目標とする。

【前もって履修しておくべき科目】
コンピュータリテラシー

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
プリントを配布する。

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容は次の通りである。

1. コンピュータリテラシーの復習，繰り返しと場合分け
2. 基本的な制御構造のまとめ
3. 1～2に対応する演習
4. 構造を持つデータ(1) 1次元配列
5. 4に対応する演習
6. 構造を持つデータ(2) 2次元配列
7. プログラムの分割 関数(1)，引数
8. 6～7に対応する演習
9. プログラムの分割 関数(2)，ブロック
10. 構造を持つデータ(3) 構造体
11. 構造を持つデータの組み合わせ
12. 9～11に対応する演習
13. 再帰
14. 説明し残した機能
15. 12～14に対応する演習

(b) 前学期のコンピュータリテラシに引き続く形で，講義と演習とを歩調を合せて進行する。プログラミング言語はC言語を用いるが，これは様々な分野において実用的な言語としてCが広く利用されているからである。講義の順序は必ずしもこの通りではなく，本学科として必要と思われる例題を適宜おりまぜて講義を進める。

(c) 授業時間外の学習については講義の中で話す。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法

演習のレポート(50%)，および2月の期末試験の成績(50%)で評価する。

(b) 評価基準

以下の到達レベルをもって合格の最低基準とする。

- (1) 基本的なデータ型と演算に関して理解していること。
- (2) 手続き・関数の動作，役割を理解していること。
- (3) 構造を持つデータを適切に扱うことができること。
- (4) 課されたレポートのすべてを提出していること。
- (5) レポートの内容については，与えられた問題に関してプログラムを作成，実行し，結果に関する考察がきちんとなされていること。

電気通信大学 平成20年度シラバス

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。授業時間のあとなどに連絡してください。

【学生へのメッセージ】

出席しましょう。

【その他】

なし